

## 美しい言葉

校長 関川 紀美子

カレンダーをめくり2月になったかと思うと、いつの間にか、弥生3月を迎える頃となりました。屋根に積もった雪が解けたり、また白くなったりと春が待ち遠しいです。児童玄関前の花壇に目をやると、スイセンの小さな芽が出始めました。春は確実に近づいています。



2月の全校朝会で子どもたちに次の話をしました。(放送による全校朝会)

私たちは、毎日、日本語を使って生活をしています。実にたくさんの言葉を使い、自分が伝えたいことを相手に話したり、書いたりしています。また、聞く側も、日本語(言葉)を使って理解していますね。

NHKという放送局が、以前、言葉のアンケートをとったそうです。それは、『日本語の中で一番美しい言葉は何ですか?』という内容でした。

児童のみなさんは、一番美しい日本語が何だと思えますか?考えてみてください。

(シンキングタイム)

では、発表します。

- 第5位 おはようございます
- 第4位 すみません
- 第3位 はい
- 第2位 さようなら
- 第1位 ありがとう



どれも、私たちが普段使っている「あいさつ」の言葉でした。

ところで、「ありがとう」が第1位である理由は何でしょうか?これは、おそらく相手に対して感謝を表す言葉であるからだと思います。「ありがとう」「ありがとうございます」と言われて、嫌な気持ちになる人はいません。「ありがとう」の言葉を使っている人は相手に対して感謝の気持ちをもち声に出して伝える、つまり行動することができる……このことが素晴らしいなと思います。

また、「ありがとう」と相手に伝えることができるということは、周りの人の親切や気遣いに気付く力をもっていることにもつながると思います。

私たちは、普段たくさんの人に支えられて生活をしています。見ようとしなければ見えないし、気付かずに通り過ぎていくこともたくさんあります。自分の周りの人の気遣いや親切に、感謝の気持ちを言葉に表現して、今月も頑張っていきましょう。最後まで、しっかり聞いてくれてありがとうございました。

日頃より新型コロナウイルス感染防止のため、当校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。今後も引き続きよろしく願いいたします。